

商工課

課長 小原 直樹

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	こだわりのある商店街づくり事業
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○個店、商店街の国際化支援
基本施策(個別目標)	512	中心市街地の賑わいの創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	こだわりのある商店街づくり事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
多くの来街者や観光客が訪れる魅力ある商店街づくりのため、個性ある集客イベントや共同で行う販売促進活動を行う商店街団体等に対し、経費の一部を支援するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 商店街まちおこし事業 個性ある誘客イベント事業(事業費が50万円以上)に対し、開催に要する経費の1/3を支援 実績 9件
2 商店街活動強化事業 共同で行う販売促進活動に要する経費の1/3を支援 実績 11件
3 商店街賑わい創出事業 歩行者天国を実施する誘客イベントに要する経費の1/2を支援 実績 3件

＜現状に対する認識＞
引き続き、制度の周知を強化し、商店街団体等の積極的・主体的な取組みによる、まちの賑わいを創出する事業に対し支援を行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	商店街活動振興事業補助件数				
目標値	31	28	30	30	30
実績値	23				
達成度	74.2%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,273					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	7,273					
② 人件費(千円)	5,383	人工	人工	人工	人工	人工
正規	5,383	0.7				
嘱託	0					
合計コスト①+②	12,656					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	中小企業振興
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めず	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	○個店、商店街の国際化支援		
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	中小企業振興費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
中小企業者の商工業振興を図ることを目的に、業況動向の把握、職業訓練及び経営指導事業等を実施するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 景気動向調査 松本市における産業・中小企業の業況や環境の変化などの基本情報を収集し、行政及び関係機関の商工業振興施策の方向づけと、経営支援・企業の経営改善の参考とするもの ・景気動向調査 12回/年、特別調査 2回/年
2 中小企業能力開発学院事業 中小企業の経営改善及びその従業員の資質向上を目的として、事業展開等に必要の専門知識、技能を習得させるための職業訓練等を実施する費用に対し支援するもの ・実績 19コース
3 小規模企業指導事業 市内小規模事業者の経営の体質改善及び発達を支援するため、商工団体が実施する経営指導事業に対し支援するもの ・実績 経営指導員による巡回指導 3,401件 窓口指導 3758件 講習会開催による集団指導 121回(2,114名受講) 個別指導 73回(320名受講)

＜現状に対する認識＞

中小企業者の経営改善などを図る場合においても、小規模事業者は独自の事業展開をする余裕がないことから、専門知識習得などの職業訓練や経営に関する指導事業に対し、市が支援することで今後も引き続き実施していく必要がある。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,290				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,290				
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	21,135				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	商業振興事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○個店、商店街の国際化支援
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	商業振興事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
個性的で魅力ある店舗や商店街づくりを進めるため、安心安全な店舗づくりや、地域に密着した活力ある商店街づくりを目指し行っている各種事業に対し支援をするもの		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 中心市街地活性化事業
中心市街地の空き店舗・空き地調査や、回遊性向上に繋がる事業に対し支援
 - 商店街街路灯LED化事業
商店街団体が電気料負担の軽減を図るため行う、街路灯のLED化事業に対し支援
・実績 2件
 - 空き店舗活用事業
商店街の空き店舗を解消するため、空き店舗を賃貸して出店する場合の家賃に対し支援
・実績 4件
 - 商店等グレードアップ事業
急増する外国人や高齢化社会に対応し、来店者にとって安全、安心で、魅力ある店舗づくりを進めるため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた店舗改修事業に対し支援
・実績 12件
 - 地元グルメPR事業
地元グルメ(山賊焼)を全国的な認知度向上のため、イベントにおいて出展・PRを行う山賊焼き応援団に対し支援
・実績 藤沢市民まつり、銀座NAGANO、アサヒビール(株)ブースにおいて出店

＜現状に対する認識＞

各種制度の周知を強化するとともに、まちの賑わいの創出につながる事業者や商店街団体等の積極的、主体的な取組みに対し支援を行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	商店等グレードアップ事業補助件数				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	12				
達成度	120.0%				
② 成果指標(指標名)	松本市中心市街地空き店舗率				
目標値	12%	12%	12%	12%	12%
実績値	11.60%				
達成度	96.7%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	28,012					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	28,012					
② 人件費(千円)	13,073	人工	人工	人工	人工	
正規	13,073	1.7				
嘱託	0					
合計コスト①+②	41,085					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	創業者支援事業
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	511	創業・事業承継支援の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—		松本版総合戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	創業者支援事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
意欲ある創業者が円滑に創業し自立することができるように、伴走型の相談や、対象とする経費に対して支援をするもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 新規開業家賃補助事業 新規開業者が店舗を賃借して開業する場合の家賃に対し支援(2年) 1年目 家賃の3/10、2年目 家賃の2/10 ・実績 109件
2 新規開業支援利子補給事業 新規開業者が、開業にあたり市や県の制度資金等で創業支援向け融資を利用した場合の利子に対し支援(2年) 1年目 利子相当額、2年目 利子相当額の2/3 ・実績 71件

＜現状に対する認識＞
意欲ある事業者の新たな創業は、「今」の消費者ニーズにあった個性的で魅力的な個店の増加や、空き店舗の解消につながることから、事業継続率向上のため一層支援を強化・継続します。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	創業支援者件数				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	47				
達成度	94.0%				
② 成果指標(指標名)	事業継続率				
目標値	85.7	94.8	94.1	97.7	94.4
実績値	85.7				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	30,084					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	30,084					
② 人件費(千円)	11,422	人工	人工	人工	人工	
正規	9,997	1.3				
嘱託	1,425	0.5				
合計コスト①+②	41,506					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	中小企業金融対策事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み			
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
—	—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	中小企業金融対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
中小企業者が事業経営に必要とする資金を円滑に調達できるよう、市制度及び県制度資金の融資あっせん、制度資金を利用する際に必要な信用保証料及び一部資金の利子について支援するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 中小企業金融対策資金信用保証料 中小企業者が制度資金を利用し事業資金の借入をする場合に、その借入がスムーズに行われるよう公的な「保証人」となる保証制度の保証料に対し支援 ・市制度資金 保証料の4/5を市が負担 (ただし、セーフティーネット保証に該当する場合は全額負担) ・県制度資金 保証料の2/5づつを市と県が負担 (ただし、セーフティーネット保証に該当する場合は1/2づつ負担)
2 中小企業金融対策資金利子 市制度資金のうち9資金について支払利子に対し支援 期間 3年間 利子補給率 貸付利率の0.2%～0.8%

＜現状に対する認識＞
信用保証料の補助や利子補給などによる利用者負担の軽減を行うとともに、状況に応じて融資条件やメニューの見直しを図ってまいります。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,996,521					
国・県						
利用者負担金						
その他	1,900,000					
一般財源	96,521					
② 人件費(千円)	10,314	人工	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6				
嘱託	5,700	2				
合計コスト①+②	2,006,835					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	工業振興事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	○産業振興に必要なICT環境とICT教育の充実			
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	工業振興費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
平成20年に策定された「松本市工業ビジョン」を元に、松本地域の製造業等の技術や新規事業開拓、販路拡大等の支援を行い、松本市内工業の活性化を目指すもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 工業ビジョン推進
平成20年度に策定した「松本市工業ビジョン」で、高付加価値の製品を生み出し、新市場を開拓することによって、景気の変動に影響を受けにくい、価格決定力を持つ地域をつくることを目指し、様々な施策を実施
実績 工業支援センターニュース発行 2回
- 製造業技術支援コーディネーター事業
技術の高度化等、企業を取り巻く環境変化に対応するため、技術支援コーディネーターを置き、企業の課題に即した助言・指導を行うもの
実績 企業訪問 130社
- 製造業受発注支援コーディネーター事業
地域製造業の技術の掘り起こしを行い、展示会への出展奨励と、効果的な出展アドバイス等により、製造業が下請け構造から脱却し、販路拡大していくための支援
実績 375社
- 工業振興アドバイザー事業
松本の工業界が松本市工業ビジョンに示されている「活性化」した状態になるように、企業が取り組む推進事項についてアドバイスを実施するとともに、まともと工業支援センターの効果的運営のための企画・統括を行うもの
実績 松本市活性化支援補助事業 2件
- 製造業等販路拡大支援事業
本市における製造業等の振興及び発展を図るため、中小製造業者等が行う新市場の開拓又は販路拡大を目的とした展示会、見本市への出展に要する経費を補助し、販路開拓・拡大に積極的に取り組む中小企業を支援
実績 補助事業 30件
- 製造業等人材育成支援事業
企業の技術力向上・人材育成を重視して、地域企業が積極的に経営力の強化又は技術力の向上を目的とした人材育成事業に対する補助
実績 補助事業 29件

<現状に対する認識>

現松本市工業ビジョンが、平成29年度で終期となるため、これまでの評価・検証を行い、10年後の目指すべき方向性と、平成30年度から平成34年度までの5年間の中期計画を定めた次期工業ビジョンを策定します。

<指標の達成状況>

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	販路拡大支援件数(※H30以降は次期工業ビジョンで検討)					
目標値	18	21				
実績値	30					
達成度	166.7%					
② 成果指標(指標名)	人材育成支援事業件数(※H30以降は次期工業ビジョンで検討)					
目標値	30	30				
実績値	29					
達成度	96.7%					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	35,893				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	35,893				
② 人件費(千円)	10,739	人工	人工	人工	人工
正規	8,459	1.1			
嘱託	2,280	0.8			
合計コスト①+②	46,632				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	地場産業振興
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本製品のブランド化

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	地場産業振興費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
物産展等の開催や出展等による地場産品の販路拡大や新商品開発等による新たな需要の喚起、伝統産業の技術を継承できる後継者の育成等により地場産業の振興を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 ものづくり伝承事業 (1) 地元イベントや県外物産展等の開催、出展及び事業者の出展支援 (2) 後継者育成助成による後継者の確保や体験講座等による伝統産業を周知し、理解を深めるための事業の実施 県外物産展出展回数 8回
2 松本スイーツ開発・普及事業 (1) コンテストの実施等による新たなスイーツの開発 (2) 地元イベントや県外物産展等への出展、販売イベントの開催等のプロモーション活動 商品化点数 11点、取扱事業所数 11カ所
3 イベント開催事業 地場産品の振興につながるイベントの実施 4回開催 ・工芸の五月(5月) ・信州夢街道フェスタ(6月) ・信州・松本そば祭り(10月) ・信濃の国楽市・楽座(10月)

＜現状に対する認識＞
・伝統産業の作り手、購買層とも高齢化が進み、需要の拡大と技能の継承のためには若年層の関心や需要の喚起や、地元、大都市圏でのPR及び販路拡大が必要 ・松本スイーツは品目、取扱店とも増加し、認知度も高まっているが、さらに定着させるため、新たな定番商品の開発やプロモーション活動を実施する。 ・市内イベントは、市民だけでなく市外からの来場者も多く定着している。今後も実施内容を見直しながら事業の継続、拡大を図る。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	県外物産展の開催・出展及び市内イベント開催回数				
目標値	9	10	10	10	10
実績値	12				
達成度	133.3%				
② 成果指標(指標名)	松本スイーツ取扱事業所数				
目標値	10	15	18	21	24
実績値	12				
達成度	120.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	44,613					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	44,613					
② 人件費(千円)	11,422	人工	人工	人工	人工	人工
正規	9,997	1.3				
嘱託	1,425	0.5				
合計コスト①+②	56,035					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	企業事務所等誘致事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	企業事務所等誘致事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
テレワークを駆使した事業所や上場企業等の事業所を松本市内に誘致することで、雇用の拡大や、新しい働き方の創出を推進するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 テレワーク支援事業 地方創生総合戦略事業として、若者、女性、IJUターン者の新しい働き方を創出するため、ICT技術を駆使し、テレワークを実施するため、サテライトオフィスを市内に開設を希望する企業に対し、賃借料の一部を補助 実績 1社
2 事業所誘致促進事業 一部上場企業等の市内への事業所開設に対して、不動産の取得費用及び賃貸費用のついて補助 実績 1社

＜現状に対する認識＞
待ちの姿勢ではなく、積極的な情報収集及びアピールを行い、企業誘致数増に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業所誘致件数				
目標値	2	2	2	2	2
実績値	1				
達成度	50.0%				
② 成果指標(指標名)	テレワークオフィス開設件数				
目標値	2	2	2	2	2
実績値	1				
達成度	50.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,723					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	1,723					
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2				
嘱託	0					
合計コスト①+②	3,261					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	産学官連携事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めず	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	○産業振興に必要なICT環境とICT教育の充実		
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	産学官連携事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

松本地域の産学官(企業関係者、松本市、商工会議所、県機関、大学等)が連携することで、松本地域製造業の活性化を目指すもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本地域産学官連絡会
松本地域の産学官(企業関係者、松本市、商工会議所、県機関、大学等)が一体となってネットワークを構築し、既存中小企業者や起業家等への効果的な支援を行う方策を研究することを目的とするもの
・実績内容 産学官交流ネットワーク 7回開催、視察 2回
- 製造業活性化支援事業
市内中小製造業者が、大学等との共同研究による技術開発や、産産連携、自社製品・技術の延長上にとどまらない異分野へチャレンジをしようとする際、その経費の一部を補助
・実績 2件

<現状に対する認識>

企業の活性化策としては有効であり、今後も関係機関と協力しながら産学官連携を推進していく。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	製造業活性化支援事業(H30以降は次期工業ビジョンで検討)					
	目標値	3	3			
	実績値	2				
	達成度	66.7%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,906				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	1,906			
② 人件費(千円)	15,837	人工	人工	人工	人工
	正規	13,842	1.8		
	嘱託	1,995	0.7		
合計コスト①+②	17,743				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	海外経済交流事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○外国人旅行者の倍増をめざした、松本の国際化
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	海外経済交流事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

健康寿命延伸都市・松本の発信のため、世界に向けて多様なチャンネルを開く目的から、機会を捉えて海外との経済交流や文化交流、誘客を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 ロシア経済交流事業
 モスクワ国際観光見本市へ出展し、松本の地場産品や観光等、松本の魅力をPR
 ・パンフレット配布 200部

＜現状に対する認識＞

・ロシアとの交流は、平成20年度以降順調に進んでいるが、更なる松本の知名度向上と誘客のため、現地機関等と協力して松本の観光と物産のPRを継続する。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	ロシア人観光案内所利用者数				
目標値	30	50	50	50	50
実績値	79				
達成度	263.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	524				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	524				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,062				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	工業団地管理事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めず
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○産業振興に必要なICT環境とICT教育の充実
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	工業管理事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	~
市内の工業団地の適切な維持・管理を行い、産業振興に寄与するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 大久保工場公園団地管理会館管理 大久保工場公園団地管理会館の適切な維持・管理 H28 耐震補強工事等実施(62,986千円) H28 大久保工場公園団地管理会館会議室利用件数 13件
2 工場団地敷地貸付事業 工場団地内の松本市所有地の貸付
3 工場団地内敷地管理事業 工場団地内の市有地について、除草、伐採、沈砂池清掃等の管理

<現状に対する認識>

平成28年度、大久保工場公園団地管理会館の耐震補強及び改修工事を実施。今後は、会館の在り方についての見直しを行う予定
--

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	大久保工場公園団地管理会館会議室利用件数				
目標値	21	25	25	25	25
実績値	13				
達成度	61.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	71,469				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	71,469				
② 人件費(千円)	5,157	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	76,626				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	商工課	課CD	07100000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	市営市街地駐車場事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約		
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み			
基本施策(個別目標)	512	中心市街地の賑わいの創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
—	—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>	
会計名	市街地駐車場事業
予算中事業名	駐車場管理運営費

<事業の狙い>	事業計画年度	～
駐車場の利便性向上を図ることで、顧客満足度を高めるとともに、観光バスを中心市街地の駐車場に呼び込むことで、観光客の回遊性を高め、商店街の活性化を図るもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
<ul style="list-style-type: none"> ・松本城大手門駐車場 普通車163,577台、バス6,105台、バイク2,486台 ・中央西駐車場 普通車215,226台 ・中央駐車場 普通車89,744台

<現状に対する認識>
観光客の回遊性をより高めるため、駐車場設備の改修や顧客対応のさらなる充実が必要

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	平成28年度					平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度				
① 事業費(千円)	329,949												
国・県													
利用者負担金	323,116												
その他	6,833												
一般財源													
② 人件費(千円)	11,422	人工		人工		人工		人工		人工			
正規	9,997	1.3											
嘱託	1,425	0.5											
合計コスト①+②	341,371												
前年度比	—												

健康産業・企業立地課

課長 高野 敬吾

事務事業評価票

事務事業名	健康寿命延伸新需要創造事業
-------	---------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本地域健康産業推進協議会事業費

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み	○新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致			
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成			

<事業の狙い>

事業計画年度	H23	～
--------	-----	---

松本ヘルスバレー構想実現のため、国の成長戦略の一翼を担う健康寿命の延伸を目指す健康、医療・介護分野において、産業の創出と集積を図ることで、地域産業の育成と雇用に結び付けることを、市民及び産学官の協働により持続可能な都市政策として推進するもの

- <事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
- 松本地域健康産業推進協議会会員数 266団体(前年比63増)
 - 健康産業フォーラム 2回開催(6/10、3/14)
 - 実証実験・実用化検証助成事業(協議会会員の实証実験を助成) 4件実施
 - 「健康経営」に関する地元企業への普及・啓発
 - 医療・福祉・健康ICT基盤の検討
(地域包括ケアとヘルスケア産業に繋がる新しいICT基盤構築)
 - 松本ヘルス・ラボの推進
 - 「歩こうBiz & CycleBiz」事業
(健康経営に伴う新しいビジネススタイルの提案)
 - 第7回世界健康首都会議の開催(11/10、11)
 - 企業連携事業の推進

<現状に対する認識>

少子高齢型人口減少社会が急速に進展し、生産人口が減少する中、経済成長が懸念視されている。そんな中、健康産業は経済循環の観点から90年代の「ICT産業」に続くものと位置づけている経済学者もあり、今後の世界経済において、経済発展の大きな波となる可能性が高い。こういった現状を踏まえ、松本地域健康産業推進協議会がプラットフォームとなって、成長性の見込まれるマーケットへの進出を推進することで、松本ヘルスバレー構想の基盤を確固たるものとする必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	実用化に向けた実証事業等の件数				
目標値	2	2	2	2	2
実績値	4				
達成度	200.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	11,761				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	11,761				
② 人件費(千円)	22,930	人工	人工	人工	人工
正規	19,225	2.5			
嘱託	3,705	1.3			
合計コスト①+②	34,691				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	健康産業市民協働促進事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	健康産業市民協働促進事業費

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H26 ~
市民(地域住民)の健康増進と、市民との共創によるヘルスケア産業の創出・育成の実現をめざすもの(国の地方創生交付金活用事業)		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 【企業向け】市民参加による健康産業創出の場 開発中の健康づくりのための製品やサービスを松本ヘルス・ラボ会員が試験的に体験し、評価を行うモニタリングサービスを実施 H28年度実施件数3件
2 【会員向け】健康づくりの機会提供 ・健康チェック 年2回実施 (体力テスト、血液検査、身体測定ほか) ・健康増進プログラム 月1回程度実施 (ラジオ体操、ヨガ、ストレッチ、脳トレ、栄養学講座、ロコモ予防講座ほか)
3 一般財団法人の設立 社会的な信用を担保し、責任の範囲など持続可能な経営方針を明確化するとともに、専従人材の確保・育成を図るため、平成28年12月26日に松本ヘルス・ラボを法人化し、「一般財団法人松本ヘルス・ラボ」を設立
4 オフィスの開設 ・市民・企業・行政の連携を生む場所として、地場産カラマツ材を用いた松本ヘルス・ラボオフィスを平成29年3月13日にMウイングに開設 ・会員の交流の場であると同時に、松本地域健康産業推進協議会加盟企業のヘルスケア関連製品の展示も行うなど、松本地域の健康産業のPRに活用

＜現状に対する認識＞
会員の世代構成の偏りや、会員獲得の進捗等を課題として認識し、今後は働く現役世代の参加を推進すべく、企業経営者へのアプローチを行い、法人会員による会員数の増強を図る。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本ヘルス・ラボ登録会員数				
目標値	800	800	1000	1100	1200
実績値	450				
達成度	56.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	64,534					
国・県	26,286					
利用者負担金						
その他						
一般財源	38,248					
② 人件費(千円)	16,235	人工	人工	人工	人工	
正規	15,380	2				
嘱託	855	0.3				
合計コスト①+②	80,769					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	工業振興 (新松本工業団地建設事業)
-------	-----------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	○新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致			
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成			

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	工業振興費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H21 ~ H54
医療、健康、福祉、環境関連等、今後競争優位に立てる分野の工場や研究所を誘致するため、外部から専門性の高い指導・助言を受け誘致業務を推進する。企業の進出を円滑にする助成制度を設け、進出企業の生産活動を支援するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
松本市工業ビジョンに基づき、新たな工業団地を建設し、企業誘致を行うもの。また、進出企業に対し松本市商工業振興条例に基づく助成金を交付する。
1 場所 松本市和田(松本臨空工業団地北東隣接地)
2 規模 開発面積約20.3ha(うち分譲地 約14.3ha)
3 進捗
H20 計画地決定、地元説明、現地測量
H21 特会設置、地元調整、用地取得交渉、実施設計、発掘ほか調査
H22 用地取得、開発許可申請、調査、団地外下水道工事着手
H23 用地取得、調査、団地造成工事着手
H24 分譲開始、2社に分譲(株)関一精機、テスコム電気(株)
H25 企業誘致活動
H26 2社に分譲(株)TOSYS、(株)国吉)、団地造成工事完了
H27 1社に分譲(株)タカノ)
H28 3社に分譲(株)信越リード、ケンマージャパン(株)、(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ)
(累計分譲面積=92,309㎡(分譲率=64.7%))

＜現状に対する認識＞
健康・医療産業分野で優良かつシンボリックな企業の積極的な掘り起しを行うため、組織訪問と関連する情報収集と分析を行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	新松本工業団地の分譲率(%)				
目標値	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
実績値	65.0%				
達成度	130.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	96,467					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	96,467					
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	100,312					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	新工業団地建設事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	新松本工業団地建設事業
予算中事業名	新工業団地建設事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	○新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致		
基本施策(個別目標)	523	ものづくり産業の振興	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H21 ~ H54
産業基盤の確立と地域経済の発展のため、知識集約型企業の拠点、とりわけ医療、健康、福祉、環境関連等、今後競争優位に立てる分野の工場や研究所を誘致し、次代を担う若者たちが生き生きと働くことができる雇用の場を確保し、「健康寿命延伸都市・松本」の創造を目指すもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
松本市工業ビジョンに基づき、新たな工業団地を建設し、企業誘致を行うもの
1 場所 松本市和田(松本臨空工業団地北東隣接地)
2 規模 開発面積約20.3ha(うち分譲地 約14.3ha)
3 進捗
H20 計画地決定、地元説明、現地測量
H21 特会設置、地元調整、用地取得交渉、実施設計、発掘ほか調査
H22 用地取得、開発許可申請、調査、団地外下水道工事着手
H23 用地取得、調査、団地造成工事着手
H24 分譲開始、2社に分譲(株)関一精機、テスコム電気(株)
H25 企業誘致活動
H26 2社に分譲(株)TOSYS、(株)国吉)、団地造成工事完了
H27 1社に分譲(株)タカノ)
H28 3社に分譲(株)信越リード、ケンマージャパン(株)、(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ)
(累計分譲面積=92,309㎡(分譲率=64.7%))

＜現状に対する認識＞
次世代成長産業への転換を促す拠点づくりを目指すため、地方創生の動きに注視しつつ、首都圏からの本社機能の移転等の情報を的確に捉え、従来の企業訪問に加え、意識的な県外企業に対する誘致活動に力を注ぐことで、健康・医療産業分野で優良かつシンボリックな企業の積極的な掘り起しを行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	新松本工業団地の分譲率(%)				
目標値	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
実績値	65.0%				
達成度	130.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	16,011					
国・県						
利用者負担金						
その他	16,011					
一般財源						
② 人件費(千円)	11,535	人工	人工	人工	人工	
正規	11,535	1.5				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	27,546					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	健康産業・企業立地課	課CD	07120000
-----	-------	----	------------	-----	----------

事務事業名	健康産業関連商品普及促進事業
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み		○新松本工業団地への健康・医療産業等の誘致		
基本施策(個別目標)	532	健康産業の創出	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	松本版総合戦略		①健康・医療産業の創出・育成		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	健康産業関連商品普及促進事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H27	～
松本地域健康産業推進協議会実証実験を活用して開発されて製品について、広く市民への普及促進を図るもの			

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業側の購入者への割引額に応じ、製品購入額の一部を助成 ・助成期間:1製品につき2年間 ・助成対象者:販売事業者 ・助成対象製品:販売価格5万円以上の製品およびサービス ・助成額:購入額の30%(限度額5万円) <p>平成28年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成申請の低迷に伴い、制度の見直しを実施 ・平成29年度からは助成対象者を製品購入者とした新制度にて製品の普及促進を図る。

＜現状に対する認識＞
<p>現行制度は製品製造者が一般消費者へ直売をすることを前提とした製造者補助であるため、販売時の割引を必須としていたが、小売りをしていない製造者も多く、制度が活用されなかった。平成29年度からは割引要件を外した、購入者補助へ制度を変更し、制度の活用促進を図る。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	D			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	補助件数				
目標値	20	20	20	20	20
実績値	0				
達成度	0.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	0					
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1				
嘱託	0	0				
合計コスト①+②	769					
前年度比	—					

觀光温泉課

課長 前澤 弘一

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光宣伝事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	観光宣伝事業費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
松本市の観光戦略の具現化を図りながら、本市の特色と優位性を生かして、国内へ積極的な宣伝活動を展開するとともに、広域観光ルートの整備促進、受入態勢の整備、各種イベントの実施等により誘客促進を図るもの。		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 1 広告宣伝事業
 - (1) パンフレット等の作成
 - (2) 観光案内所運営
 - (3) 高速バスラッピング広告
 - 2 首都圏・中京圏誘客促進事業
 - 観光説明会・商談会の実施及び観光展への出展
 - 3 就航先都市誘客促進事業
 - (1) 札幌・福岡・大阪営業活動
 - (2) 松本観光コンベンション協会福岡営業所の運営
 - (3) 信州まつもと空港利用促進助成制度
 - 4 受入体制整備事業
 - 観光ボランティア運営事業
 - 5 県内都市連携事業
 - 長野市、上田市観光交流(共同プロモーション、スポーツイベント)
 - 6 負担金
 - (1) 国宝松本城太鼓まつり・国宝松本城氷彫フェスティバル
 - (2) 観光ボランティア大学(仮称)
 - (3) ツールド美ヶ原高原自転車レース
 - (4) 夏まつり松本ぼんぼん
 - (5) 北陸・飛騨・信州3つ星街道協議会
 - (6) 上田市連携路線バス運行事業 他

＜現状に対する認識＞

社会情勢やトレンドを注視し、消費者ニーズや費用対効果を検証し、効果的な宣伝や事業内容を検討していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958				
達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	127,718				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	127,718				
② 人件費(千円)	16,805	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	144,523				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光団体育成事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	観光団体育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
本市及び周辺自治体並びに長野県等、他団体と連携した広域観光PRに取り組むため、各種団体に負担金を支出するもの。 また、観光振興を図る団体に対して、補助金を支出するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 負担金
松本観光コンベンション協会
日本アルプス観光連盟
美ヶ原観光連盟
信州・長野県観光機構
中部森林管理局国有林観光施設協議会
国民保養温泉地協議会
信州まつもと空港利用促進協議会
アルプスエアークラブ
ぶり街道推進協議会
信州まつもと空港地元利用促進協議会
JAPAN ALPS広域観光都市連携会議
スポーツコミッション事業
2 補助金
浅間温泉観光協会
市民参加料理コンクール

＜現状に対する認識＞

各団体が持つ地域性や観光資源を生かし、特色ある事業の展開と課題の解決に努める。 補助金の支出については、その事業が適正に実行、運営されているかチェックしていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958				
達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	88,924				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	88,924				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	96,614				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際観光都市推進事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信		
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	国際観光都市推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

本市を訪れる外国人観光客を増やすため、各種PR活動の実施および団体への負担金の支出を行うもの。また、本市を訪れた外国人観光客が快適に滞在できるよう、受入環境の整備を行うもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 海外観光誘客宣伝事業
 - (1) 旅行博への出展
 - (2) 旅行代理店等への営業活動
- 2 外国人観光客受入環境整備事業
 - (1) 公衆無線LAN環境整備事業
 - (2) 無線LAN環境整備補助金の支出
 - (3) 民間事業者向け研修会の開催
 - (4) 外国人旅行者受入基本マニュアルの作成
- 3 団体への負担金支出
 - (1) 日本アルプス観光連盟
 - (2) 国際観光振興機構
 - (3) 長野県国際観光推進協議会
 - (4) 超広域観光ビジット3

＜現状に対する認識＞

外国人観光客の増加率は全国平均を上回る高い伸びを示しているものの、増加とともにホテルやバスの不足、高騰というリスクもあり予断を許さない状況。最多訪松の台湾でも団体ツアー不振・FIT化がみられるため消費者へのプロモーションを強化する必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	外国人観光客入込者数				
目標値	150,000	170,000	190,000	210,000	230,000
実績値	140,755				
達成度	93.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	32,987				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	15,380	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	48,367				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光戦略推進事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	観光戦略推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

既存の観光戦略を見直し、観光客誘致促進や滞在型観光を推進するため、アクションプランの実施や観光大使を活用したプロモーションなど、効果的な観光施策の展開、また、公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」のリニューアルによる情報発信強化により、誘客促進を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 松本市観光大使を招いたシンポジウムの実施
(5名の観光大使が参加し、200名ほど来場)
- 北アルプスブロードバンドネットワーク事業
新まつもと物語ホームページへの動画配信
- 公式観光ホームページ情報発信事業
- 上高地歩行禁煙キャンペーン事業
ゴミ拾い、公衆トイレの清掃や給排水設備の点検・整備のほか、歩きタバコの禁止、
ポイ捨て禁止などのキャンペーンを実施。

＜現状に対する認識＞

観光戦略を策定してから10年以上経過するが、外国人観光客急増や観光の広域化など環境が変化しているため、具体的な誘客プランの策定や精査など、観光戦略の見直しが求められる。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数					
	目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
	実績値	5,115,958				
	達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,360				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	1,360			
② 人件費(千円)	11,535	人工	人工	人工	人工
	正規	11,535	1.5		
	嘱託	0	0		
合計コスト①+②	12,895				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光都市交流事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み	○シティプロモーションで松本の魅力を発信		
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	観光都市交流事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

姉妹都市及び文化・観光交流都市との相互交流事業や、信州まつもと空港の就航先都市、その周辺都市等との都市間交流事業に取り組み、松本市への誘客促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 姉妹都市及び文化・観光交流都市との相互交流
(札幌、金沢、高山、藤沢、姫路、松江、福岡、鹿児島)
- 就航先都市交流事業(札幌、大阪、福岡)
- 都市交流ツアー(おはら祭り)
- 観光宣伝事業(札幌、福岡、鹿児島)

<現状に対する認識>

各都市との相互交流を、より一層促進するとともに、九州北部の各都市とローカル・トゥ・ローカルの都市交流にも取り組む。
国宝五城として新たに加わった、松江との交流を推進する。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数					
	目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
	実績値	5,115,958				
	達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,620				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	3,620			
② 人件費(千円)	11,535	人工	人工	人工	人工
	正規	11,535	1.5		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	15,155				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	東山地域観光施設事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	東山地域観光施設事業費

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
東山地域の観光施設や公衆便所等の維持管理を等を行うもの。また、各種団体へ負担金を支出するもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

28年度実績
1 観光施設の維持管理(指定管理料、保守点検等)
(1) 三城いこいの広場
(2) ウェルネスうつくし
2 公衆トイレの維持管理(電気、上下水道、清掃業務委託、汲取り等)
(1) 美鈴湖トイレ
(2) 美ヶ原温泉駐車場トイレ
(3) 思い出の丘トイレ
3 負担金
(1) 日本温泉協会
(2) 松塩筑安曇野温泉協会
(3) 浅間温泉事業協同組合

＜現状に対する認識＞

多くの環境客が利用する施設や設備の環境美化や衛生面に配慮し、清潔で利用しやすい環境づくりに努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	美ヶ原高原入込数				
目標値	637,000	637,000	637,000	637,000	637,000
実績値	453,800				
達成度	71.2%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	43,580				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	43,580				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	51,270				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	観光施設営繕事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	観光施設営繕費

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
観光施設の修繕、営繕工事を行い、利用者が安心、安全して利用できる施設を目指すもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

28年度実績
1 修繕
(1) 観光案内所ブラインド修繕
(2) 白糸の湯水位制御修繕
(3) 思い出の丘トイレ修繕
(4) 美鈴湖トイレ漏水修繕 等
2 営繕工事
(1) 梓水苑空調設備等改修工事
(2) 美ヶ原売店駐車場等区画線設置工事
(3) ふれあい山辺館浴室照明取替工事
(4) 美鈴湖道標板改修工事
(5) 思い出の丘標識等改修工事
(6) ふれあい山辺館エアコン設置工事
(7) 松香寮大風呂ろ過ポンプ更新工事 等

＜現状に対する認識＞

施設の老朽化が激しく、突発的な故障が発生し、早急な対応が必要とされる案件が毎年発生するため、利用者や指定管理者に不便が生じないよう、それを解消するための財源確保が望ましい。
--

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	観光客入込数				
目標値	5,280,000	5,350,000	5,420,000	5,490,000	5,600,000
実績値	5,115,958				
達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	90,246				
国・県	4,057				
利用者負担金					
その他					
一般財源	86,189				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	97,936				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	観光温泉課	課CD	07150000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光施設整備事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光施設整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
山岳地域の遊歩道や登山道等の維持管理を等を行うもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
28年度実績
1 遊歩道、登山道整備(借上料、管理委託料、消耗品費等)
(1) 美ヶ原ロングトレイル
(2) 美鈴湖サイクリングコース
(3) 金松寺山登山道 等

＜現状に対する認識＞
多くの利用者が安全に利用できるよう、整備に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	美ヶ原高原入込数				
目標値	637,000	637,000	637,000	637,000	637,000
実績値	453,800				
達成度	71.2%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,941					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	4,941					
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工	
正規	7,690	1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	12,631					
前年度比	—					

山岳觀光課

課長 清水口 功

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光推進事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
山岳観光を推進する事業・団体に負担金を交付し、誘客促進を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>1 各種イベントへの負担金支出、事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダウンヒルスラローム大会 (3/11開催)、・ウェストン祭(6/4～5開催) ・上高地開山祭 (4/27開催)、・上高地閉山祭(11/15開催) <p>2 乗鞍索道事業 乗鞍高原スキー場への直行バス運行事業の負担金</p> <p>3 岳都・松本「山岳フォーラム」</p> <p>山や自然の持つ魅力や多様な価値を岳都・松本から広く発信するとともに、国民の祝日「山の日」制定の意義を周知し高めていくもの(平成23年から開催)</p> <p>4 全国「山の日」協議会の負担金</p> <p>5 クライマーズブック刊行会</p> <p>ウェストンをはじめ、日本の山岳に魅せられた外国人登山者の手記を、信濃毎日新聞社を主とする刊行会が発刊。「山の日」施行に合わせ活用するもの。</p> <p>6 上高地春山除雪 上高地地区の除雪費用の負担金</p> <p>7 乗鞍高原周遊バス</p> <p>乗鞍岳マイカー規制に対する観光振興策として、平成16年度より実施。期間は7月から10月のうち、16日間の運行。</p> <p>8 山岳診療所支援事業 医療を提供している山岳診療所に、報償費を支出</p> <p>9 春山バス運行事業 4月23日～6月30日まで県道乗鞍岳線を1日4便運行</p>

＜現状に対する認識＞
<p>安曇・奈川地域の観光入込客数が減少傾向にある中、山や自然に関する企画の充実を図り、誘客促進に努めるもの。</p> <p>また「山の日」の有効活用、「山の日」制定の意義についての周知についても継続的に取組むもの。</p> <p>春山バスの運行は、除雪費用・道路安全管理等について関係機関と協議します。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	安曇エリア観光客入込者数				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700				
達成度	96.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	12,928				
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源	12,928				
② 人件費(千円)	正規	9,115	人工		人工	
	嘱託	7,690	1			
		1,425	0.5			
合計コスト①+②	22,043					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光宣伝事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光宣伝事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

各種メディアへの広告宣伝やパンフレット等の作成、県外イベントへのブース出展、観光誘客宣伝事業や団体に対する支援を通じ、安曇エリアへの観光客の増加を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 広告宣伝等
 - (1) 新聞、テレビ、ラジオ、季刊誌への広告宣伝
 - (2) 岳都松本アルプスエリアガイドブック、乗鞍トレッキングガイド等作成、配布
 - (3) 夏山フェスタ(名古屋)ブース出展
- 2 観光誘客宣伝事業委託、観光誘客団体負担金・補助金
 - (1) 奈川地区観光・交流事業委託
 - (2) 乗鞍花劇場推進会議
 - (3) 山岳観光プロモーション協議会
 - (4) 安曇エリア周遊バス実証運行事業

＜現状に対する認識＞

常に費用対効果を認識し効果的な宣伝に努めると共に、事業内容について関係者と確認を行い次年度への修正を行うことが重要。また、国や県からの情報に注視し、新たな制度や施策への対応を検討していく。

＜指標の達成状況＞

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	安曇エリア観光客入込者数				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700				
達成度	96.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	27,384				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	27,384				
② 人件費(千円)	18,230	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	45,614				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光団体育成事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光団体育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
山岳が抱える様々な課題の解決に向けて共に取り組むため、当該団体へ負担金を支出するもの。また、山岳観光の振興を図る団体に対して、補助金を支出するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

(負担金)
北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会
学習旅行誘致推進協議会
北アルプス登山道維持連絡協議会
北アルプス山岳環境対策連絡協議会
上高地管理用道路維持管理協議会
北アルプス登山案内人組合連合会
乗鞍岳自動車利用適正化協議会
上高地自動車利用適正化協議会
スノーリゾート信州プロモーション委員会
(補助金)
アルプス観光協会
ながわ観光協会
上高地を美しくする会
乗鞍を美しくする会

＜現状に対する認識＞

負担金を支出し共に事業に取り組む団体に対しては、積極的に市の施策や地域の実情に配慮しながら、課題の解決に努めていく。
補助金を支出している団体に対しては、その事業が適切に実行、運営されているかチェックしていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	安曇エリア観光客入込者数				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700				
達成度	96.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	20,381				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,381				
② 人件費(千円)	8,403	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	713	0.25			
合計コスト①+②	28,784				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光施設整備事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光施設整備事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
観光客の多様化するニーズや時代の変化を的確かつ柔軟に捉え、老朽化している既存施設や資源を整備、改善し、自然豊かな安曇・奈川地区の観光施設を計画的に整備するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
28年度実績
1 工事請負費
(1) 松本市営沢渡第1駐車場整備工事(27～28年度)
(2) 松本市営沢渡第1駐車場電気設備工事(27～28年度)
(3) 松本市営沢渡第1駐車場機械設備工事(27～28年度)
(4) 松本市営沢渡第1駐車場便益施設新築主体工事(27～28年度)
(5) 松本市営沢渡第1駐車場回廊新築工事(27～28年度)
(6) いがやレクリエーションランド改修本体工事(28～29年度)
(7) いがやレクリエーションランド改修造園工事(28～29年度)
(8) いがやレクリエーションランド改修建築工事(28～29年度)
(9) いがやレクリエーションランド改修機械設備工事(28～29年度)
(10) いがやレクリエーションランド改修電気設備工事(28～29年度)
(11) 千間淵遊歩道改修工事 など
2 委託料
(1) 三本滝吊橋改修工事設計業務委託
(2) いがやレクリエーションランド改修工事監理業務委託(28～29年度)
(3) 上高地左岸登山道維持管理業務委託
(4) リフレ・イン奈川アスベスト分析業務委託 など

＜現状に対する認識＞
山間部の施設は、年間の施工可能な時期が限定されるため、慎重に年次計画を立案する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア観光客入込数				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700				
達成度	96.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	290,120					
国・県	206,680					
利用者負担金						
その他						
一般財源	83,440					
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工	
正規	7,690	1				
嘱託	0					
合計コスト①+②	297,810					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	アルプスエリア観光施設事業
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	アルプスエリア観光施設事業費

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
上高地・沢渡・白骨・乗鞍・奈川地域に設置されている観光施設や公衆トイレ等の設置及び維持管理等を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
28年度実績
1 公衆トイレの維持管理(清掃業務・汲取り・保守点検業務・電気・消耗品等)
(1) 前川渡公衆トイレ
(2) 大雪渓公衆トイレ
(3) 釜トンネル仮設トイレ
(4) 乗鞍自然保護センタートイレ
(5) 三本滝・鈴蘭・番所・沢渡・沢渡バスターミナル施設
(6) 奈川マレットゴルフ場トイレ
(7) アルプスの郷公衆トイレ
(8) 白樺峠公衆トイレ
2 観光施設の維持管理(電気・ガス・賄材料費・通信運搬費・借地料・借上料等)
(1) 沢渡足湯施設
(2) 安曇案内板(大野川)
(3) 安曇案内板(鈴蘭)
(4) グレンパーク案内板
(5) 沢渡バスターミナル施設
(6) 乗鞍電気自動車充電スタンド
(7) 乗鞍自然保護センター
(8) いがやレクリエーションランド

＜現状に対する認識＞
多くの観光客が利用する施設のため、環境美化や衛生面に配慮し、利用しやすい環境整備に心掛け、効率的な施設の維持管理に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア観光客入込数				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700				
達成度	96.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	61,849					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	61,849					
② 人件費(千円)	9,115	人工	人工	人工	人工	
正規	7,690	1				
嘱託	1,425	0.5				
合計コスト①+②	70,964					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	山岳観光施設営繕
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光施設営繕費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
山岳観光施設の修繕、営繕工事を行い、利用者の安全及び快適性の向上を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

28年度実績
1 修繕
(1) アクティブプラザ アルプスの郷 消防設備不良個所改修
(2) アクティブプラザ アルプスの郷 女子トイレ換気扇取替
(3) 沢渡バスターミナル水栓取替
(4) 鈴蘭公衆トイレ 微細目スクリーンチェーン交換
(5) ウッディ・もっく 給湯設備修理
(6) 安曇4号井戸破損部修繕
(7) 乗鞍充電スタンド急速充電器修繕
2 営繕工事
(1) 渋沢温泉湯管添架工事
(2) 乗鞍自然保護センター支障木整備工事
(3) 徳沢仮橋導水管取替工事
(4) 湯けむり館レストラン棟給油配管補修工事
(5) いがやスキー場水路蓋改修他工事
(6) 沢渡バスターミナル火災報知設備設置工事
(7) 高ソメキャンプ場他自火報取付工事
(8) 渋沢温泉湯管漏水部改修工事

＜現状に対する認識＞

温泉施設など、突発的かつ早急な対応を要する案件が多い。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	安曇・奈川エリア観光客入込数				
目標値	2,134,500	2,087,000	2,107,000	2,128,000	2,149,000
実績値	2,066,700				
達成度	96.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	14,241				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	14,241				
② 人件費(千円)	5,270	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	19,511				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	奈川観光施設事業
-------	----------

<予算上の位置付け>	
会計名	奈川観光施設事業
予算中事業名	奈川観光施設事業

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>				
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します		
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み	〇北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進				
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出			
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略			

<事業の狙い>	事業計画年度	～
野麦峠スキー場は市民等のウィンタースポーツの振興、地域の活性化及び雇用の創出を図るため、更なる利用促進に取り組むことを目標とします。		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 平成28年度安心・安全な索道事業を推進するため次のとおり施設改修を実施
(1) レストハウス樹海大規模改修工事 22,420千円
(2) 第5・第7リフトの改修工事 30,780千円
(3) スノーマシン給水ポンプ更新 12,420千円
2 スキー場入込状況 H25 33,925人 H26 41,759人 H27 27,345人 H28 35,388人
3 平成29年度の取組 指定管理者制度導入から9年が経過し、ながわ観光協会と連携協力し、冬の奈川地区の核施設として営業し、松本平を中心に利用促進に努める。 引き続き安心・安全な索道事業を推進するため、リフトをはじめとしたスキー場内の施設改修に取り組む。

<現状に対する認識>

暖冬傾向による降雪量の減少など、環境の変化を受けやすく、その対応策が課題である。 施設や設備及び備品は老朽化が進んでいるため、計画的な改修等が必要である。
--

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	奈川地区への観光客入れ込み数(人)				
目標値	40,000	43,000	45,000	48,000	50,000
実績値	43,000				
達成度	107.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	116,871				
国・県	66,700				
利用者負担金					
その他					
一般財源	50,171				
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	120,716				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	山岳観光課	課CD	07170000
-----	-------	----	-------	-----	----------

事務事業名	上高地観光施設事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	上高地観光施設事業
予算中事業名	上高地観光施設事業

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
上高地観光施設事業は、地域協働の重要施設として、また、本市の観光戦略を直接実現する、最前線の観光事業施設として市直営を堅持し、真心のこもったおもてなしを心がけるとともに、市民の利用促進を図りながら、信頼され選ばれる施設として健全な経営に努めるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 《徳沢ロッヂ》
大規模改修工事の完了と、リニューアルオープン
(徳沢ロッヂ改修事業費 210,440千円)
- 《アルペンホテル》
改修工事(Ⅱ期)の実施。
Ⅰ期の改修工事に加え、ロビー、中央部の客室もリニューアルした。
(アルペンホテル改修事業費 395,270千円)
- 《上高地食堂》
地元食材を活用したメニューの提供
インバウンド対応として免税店を設置し、外国人観光客の受入態勢強化を図る。
- 東京、大阪を中心としたマスコミ懇談会等プロモーション事業への参加
- 姉妹都市に対し、松本市民と同等の特別割引プランを実施。
- ホームページの外国語版(韓国語、繁体字、簡体字)、SNSの充実
- 《施設別利用客数》
(1)アルペンホテル H27 8,794人 H28 8,468人
(2)上高地食堂 H27 116,049人 H28 111,005人
(3)徳沢ロッヂ H27 0人(改修工事による休業) H28 3,631人
(4)焼岳小屋 H27 925人 H28 984人

＜現状に対する認識＞

観光施設事業全体での従業員体制の見直しや意識改革にも取り組んでいきます。
今年度も、経営分析データに基づいた経営改善を実施し、各施設の利益率向上を目指すとともに、時代のニーズも意識しながら、岳都松本のシンボリック事業として、誘客と地域貢献に努めます。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	上高地観光施設事業への観光客入込数(人)				
目標値	132,800	135,500	138,000	140,000	143,600
実績値	124,088				
達成度	93.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	355,280				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	355,280				
② 人件費(千円)	8,403	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	712.5	0.25			
合計コスト①+②	363,683				
前年度比	—				

勞政課

課長 青木 一晟

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	技能功労者褒賞表彰関係事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み			○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現	
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出			

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	技能功労者褒賞事業関係事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
長年、技能労働者として、技術の向上、後継者の育成等業界の発展に功績顕著で他の規範と認められる方について褒賞するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞	
毎年11月23日(勤労感謝の日)に褒賞式典を開催(褒賞者数 13職種 19人)	
6月下旬	技能職団体に候補者推薦を依頼するとともに、広報まつもつで周知
9月下旬	技能職団体、市職員(副市長含む)で構成する褒賞審査会を開催し
11月23日	候補者を審査。正式に褒賞者を決定 技能功労者褒賞式典開催

＜現状に対する認識＞
長年培ってきた職人の技や伝統技能に再び光を当て、技能が尊重される社会、職人が活躍し若者が職人を目指す社会を作っていくことが必要である。 褒賞という性質上、急激なルール変更は困難であり、技能職団体と連携しながら適正な褒賞を継続していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	405					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	405					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	2,712					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	ものづくり人材育成事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み		○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現		
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出			

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	ものづくり人材育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
技能五輪全国大会の開催を契機に、次代に繋がる人材育成策として、市内の学校、企業、労働団体、行政等で構成する連絡会を設立し、若年者の人材育成や地元への就職、定着を支援するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 進路情報誌「中学生が体験！松本の『ものづくり』」の制作 若年者の技能尊重気運や日本の産業を支える「ものづくり」に若い世代から職業として関心を持ってもらうため、市内の中学2年生の職場体験学習での感想や受け入れ企業の代表者からのメッセージを取材し、編集した冊子の作成し、市内全生徒に配布 (発行部数 8,500冊)
2 企業見学会 市内の企業の協力により、高校生や大学生を対象とした企業見学を実施。 (開催数 2回、訪問企業数 4社、参加者数 33人)
3 出前講座 市内の小学校3年生を対象に、「ものづくりマイスター」を講師として派遣し、角材で椅子を製作(開催校 3校 4クラス)
4 技能五輪全国大会出場者への支援 出場者や事業主に補助金を支出するなどの支援を実施(市内からの出場者7人)

＜現状に対する認識＞
ものづくり分野の職業を目指す若者も減少傾向にあり、このままでは技能の継承が困難となり地域産業の持続的発展にも影響を及ぼすことが懸念される。技能尊重、若者が職人を目指す社会を作っていくことが必要である。 連絡会の発足以降、毎年のように新たな事業に取り組んでおり、特に若年層への啓発という観点から所期の目的は果たしている。今後も連絡会の構成団体と協働で事業を進めていく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	会議回数(回)				
目標値	2	2	2	2	2
実績値	2				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,893					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	3,893					
② 人件費(千円)	2,877	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	570	0.2				
合計コスト①+②	6,770					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	労働教育労働相談事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	労働教育労働相談事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
労働に係る各種情報提供、労働諸法や経済情勢等の学習、IJUターン希望者に対する職業相談などを実施し、労働者の意識向上や労使双方の学習機会を提供するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 「労政まつもと」の発行 労働諸情勢の動きや制度・法改正の情報を掲載し、市内の100人以下の従業員の中小企業に配布(年3回発行)
2 中信地区労働フォーラムの開催 労働諸法、労働諸情勢の学習の場として、長野県との共催でフォーラムを開催するもの(年3回開催)
3 IJUターン促進事業 本市への移住促進や各世代の交流人口の増加促進を目的に、首都圏や大都市圏で都市交流課とともにセミナーを開催。就職に関する情報提供や個別相談に応じるもの(年7回開催)

＜現状に対する認識＞
・情報提供、学習の機会として一定の役割を果たしている。 ・IJUターンセミナーについては各種の情報提供を直接伝えることができ、互いに共有できる場として有効である。 ・情報提供の方法については更に検討していきたい。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	274					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	274					
② 人件費(千円)	5,184	人工	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6				
嘱託	570	0.2				
合計コスト①+②	5,458					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	勤労者福祉事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	勤労者福祉事業費

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めず
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
勤労者の福利厚生を促進するため、各種事業・制度に対する補助金交付や利子補給などを実施するもの		

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 勤労者資金融資
労働金庫と協調し、勤労者に対する資金融資を行うもの
 - 勤労者文化厚生事業
松本地区労働者福祉協議会が行う、メーデー、体育・文化・厚生事業等の推進に対して補助するもの
 - 建設国民健康保険組合補助金
松本建設労働組合、松筑建設労働組合が行う建設国保に係る事務費の一部を補助するもの
 - (一財)松本市勤労者共済会の育成
市内の中小企業の従業員と事業主を対象に各種福利厚生事業、共済事業、生活資金融資などを行う共済会に対して補助するもの
 - 中小企業退職金共済制度、特定退職金共済掛金制度
国の行う中退共制度、全国商工会議所が行う共済制度の加入促進を目的として掛金の一部を補助するもの
 - 勤労者住宅建設資金
労働金庫から融資を受けて市内に住宅を新築、増改築した場合に利子の一部を補給するもの

＜現状に対する認識＞

景気の回復や雇用情勢にも改善の傾向がみられるが、労働者は安堵できる状況ではなく支援が必要である。現在の補助金交付や利子補給により勤労者の支援という面で一定の役割は果たしている。引き続き、労働者のニーズに合った事業の実施について検討していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	124,648				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	124,648				
② 人件費(千円)	5,184	人工	人工	人工	人工
正規	4,614	0.6			
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	129,832				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	雇用対策事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	雇用対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
雇用の促進を目的とした事業を実施するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 雇用対策事業
松本地区雇用福祉協議会、松本職業安定協会、松本商工会議所が行う雇用対策に対する経費の一部を補助
- 職業訓練事業
中信電気工事士職業訓練校が行う職業訓練事業に対する経費の一部を補助
- 障害者雇用報償
障害者を新規に雇用し、法定雇用率を達成している事業主を表彰(報奨事業主数 29人)
- 新社会人激励のつどい
地元就職をした新社会人に対する激励会を松本商工会議所、松本地区雇用福祉協議会、松本青年会議所と共催で実施(参加 31社 203人)
- コワーキングスペース活用型人材育成事業
短時間労働やクラウドソーシングといった新しい働き方に従事できるようコワーキングスペースを活用したITスキル向上研修を実施する。(受講者数 16人)
- 労働相談支援事業
労働組合に寄せられる労使間トラブルや金銭トラブル等日常生活全般の相談に応じるもの。(NPO法人ユニオンサポートセンターに委託)(相談件数 2,738件)

＜現状に対する認識＞

雇用対策は、景気の回復が前提となるが、就労の機会の確保に向けた側面的な支援が必要である。事業実施を通して一定の役割を果たしている。現行の事業を継続していくとともに、平成28年度から開始したコワーキングスペース活用型の事業など、時代に合致した方法についても引き続き検討していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	コワーキングスペース活用型人材育成事業受講者数				
目標値	16	32	32	32	32
実績値	16				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	7,734				
	利用者負担金	2,381				
	その他					
	一般財源	5,353				
② 人件費(千円)	正規	4,415	人工		人工	
	嘱託	3,845	0.5			
		570	0.2			
合計コスト①+②	12,149					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	仕事と家庭の両立促進事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	仕事と家庭の両立促進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
仕事と家庭の両立可能な職場環境を整えるため、ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーの開催や先進企業の取り組みの紹介などを行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

セミナーの開催により企業側と労働者に対してワークライフバランスの啓発をする。	
平成28年度は下記のとおりワーク・ライフ・バランス推進セミナーを開催した。(年1回開催 参加者数 40人)	
1 日時	平成28年10月20日(木)
2 演題	「今から備える仕事と家庭の両立戦略～突然の離職を未然に防ぐために～」
3 講師	介護・暮らしジャーナリスト 太田 差恵子 氏
4 周知方法	新聞広告、広報まつもと、市ホームページ 勤労者共済会の会報にチラシを同封 企業、労働団体、勤労者関係団体、行政機関などに周知

＜現状に対する認識＞

・ワーク・ライフ・バランスは重要課題であり、労働行政のみならず男女協働参画など色々な面からのアプローチが必要である。関係課とも連携を図りながら、企業と労働者のそれぞれが理解して実践していけるように啓発をしていく。
・セミナーについては参加者を増やすことが課題であり、市民ニーズに合致した企画の開催や広告宣伝について一層注力したい。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	参加人数				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	40				
達成度	80.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	269				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	269				
② 人件費(千円)	2,877	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	3,146				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	労働関係事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み			○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現	
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	労働関係事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
雇用促進住宅神林宿舎の駐車場用地として借用しているもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

雇用促進住宅神林宿舎の駐車場用地として借用しているもの	
1	住所 松本市神林5705-2
2	所有者 岡村 吉廣 氏
3	面積 694㎡
4	契約期間 1年更新

<現状に対する認識>

平成33年度までには、雇用促進住宅が廃止になるため返却予定

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	国・県									
	利用者負担金									
	その他									
	一般財源	833								
② 人件費(千円)	正規	1,581	人工		人工		人工		人工	
	嘱託	428	0.15							
合計コスト①+②	2,414									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	勤労会館管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5 地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	勤労会館管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
勤労者の文化的教養の高揚及び福祉の増進を図ることを目的に設置された勤労会館の管理を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
松本市勤労会館は、昭和60年に松本市が建設し、長野県松本勤労者福祉センターと一体的に管理運営を実施
1 会議室6室(うち、5室は労働団体が事務所として目的外使用)の管理
2 貸館を行っている第4会議室の使用許可、使用料収納、減免、還付

＜現状に対する認識＞
・貸会議室1室のほかは労働組合の事務室(5室)として目的外使用されているため、普通財産としての活用を含め、今後の施設のあり方を検討する必要がある。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,370					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	3,370					
② 人件費(千円)	4,700	人工	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5				
嘱託	855	0.3				
合計コスト①+②	8,070					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	勤労者福祉センター管理
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めず	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	市長公約	主な取組み	○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現		
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	勤労者福祉センター管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
勤労者の福祉増進に寄与することを目的に、長野県が設置した松本勤労者福祉センターの指定管理者として管理を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
本市は昭和47年の建設当初から管理委託を受け、平成18年4月からは指定管理者の指定を受けて管理運営を実施 現在の指定管理期間は、平成27年4月から平成30年3月末までの3年間
1 勤労者福祉センターの管理運営 貸館を行っている会議室(11室)の使用許可申請、使用料収納、減免、還付
2 センター運営協議会の開催 施設の円滑な管理運営を行うため、関係機関による管理課題等の協議

＜現状に対する認識＞
現在の指定管理期間は平成30年3月末までであり、今年度は県による施設の改修工事が行われる。県から施設移管される平成30年4月からは、本市所有施設として平成30年度は直営で管理運営し、平成31年度以降は指定管理者制度導入に向けた検討に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,793					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	15,793					
② 人件費(千円)	18,230	人工	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2				
嘱託	2,850	1				
合計コスト①+②	34,023					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	商工観光部	課名	労政課	課CD	07200000
-----	-------	----	-----	-----	----------

事務事業名	市長と労働団体との懇談会
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	5	地域経済の好循環を生みだす商工業の振興と、女性や若者の雇用の拡大を進めず	
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み			○若者や女性が活躍できる新しい働き方の実現	
基本施策(個別目標)	514	労働、雇用対策の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略		④新しい働き方・雇用の創出		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	

<事業の狙い>	事業計画年度	～
労働組合からの要望により、市長との懇談会を開催するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
労使相互の理解と福祉向上や労働行政の推進を目的として、労働に関する諸問題をテーマに懇談会を開催(年1回開催) 平成28年度は下記のとおり開催した。
1 日時 平成29年2月13日(月)
2 懇談項目
・高齢者雇用促進と生きがいの仕組みづくりについて
・公共交通政策について
・市民が、健康で自立した生活を送るためにについて
・松本市で公契約条例の制定について
・ピロリ菌検査費用助成について
・建設業の担い手確保・育成に向けた制度創設について

<現状に対する認識>
労働団体との相互の理解が図れている。

<指標の達成状況>	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	0					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	0					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	2,307					
前年度比	—					